

2012年度 B1選手権

帆走指示書

1 適用規則

- 1.1 本大会は (A)2009-2012セーリング競技規則(RRS)に定義された「規則」に従う。また(B)テクノ293クラス規則、(C)大会実施要項及び帆走指示書を適用するが、矛盾が生じた場合、その優先順位は順に(C)-(B)-(A)とする。またセールエリアはテクノ7.8㎡または6.8㎡とする。

2 参加申込

実施要綱に定められた参加資格を持つものは、所定の手続きを完了することによって、本大会に参加できる。

3 帆走指示書の変更並びに選手への通告

帆走指示書の変更並びに選手への通告がある場合は、大会本部の公式掲示板に、掲示される。

4 陸上で発せられる信号

- 4.1 陸上で発せられる信号は、大会本部前に掲げられ、次のとおりとする。
- <AP旗> 「レースのスタート予定時刻は延期された。出艇を禁止する。」
 - <L旗> 「新たな通告が公式掲示板に掲示された。」
 - <Z旗> 「出艇を許可する。スタート予定信号は、掲揚25分後以内に発せられる。」
 - <G旗> 「Techno293エキスパートクラスの出艇を許可する。」
 - <F旗> 「Techno293ビギナークラスの出艇を許可する。」
 - <AP/A旗> 「本日行うすべてのレースは終了した。」

5 海上で発せられる信号

- 5.1 フィニッシュ運営艇で発せられる信号は、次のとおりとする。
- <L/L旗> 「引き続き次のレースが実施される。」
 - <H旗> 「フィニッシュした艇は、ハーバーへ速やかに戻れ。」

6 責任の所在

本大会の主催者、関係団体及びレース委員会は、人員及び物件に対するいかなる責任も負わない。出艇するか、あるいはレースを継続するか否かの責任は各選手の判断にある。

7 安全

- 7.1 選手は出艇から帰着まで、適切なライフジャケット及び、5mm以上、5m以上のレスキューシートを常時着用しなければならない。

- 7.2 選手は海上に出艇する前に、陸上本部で出艇申告をしてから、出艇しなければならない。又、帰着後速やかに帰着申告をしなければならない。帰着申告の締め切り時刻はそのクラスの最終艇のフィニッシュ時刻またはタイムリミットから、特別な理由がない限り30分後とする。
- 7.3 7.2に違反した選手は、違反のあった時の最も近いレースに対し、ペナルティーとして、10ポイントを順位に加えるものとする。またこのペナルティーによる得点は最大で（参加艇数+1）点とする。
- 7.4 レースからリタイアする選手は、可能な限りレースエリアを離れる前に運営艇に通告しなければならない。

8 レースコース

- 8.1 レースコースは公式掲示板に表示する
- 8.2 選手は、指示されたコースを帆走しなければならない。
コースは次のとおりとする。
start→上→下→上→下→finish
- 8.3 レースコースに関して、以下のようにクラスルールを変更する。
海上で3レース以上連続で行う場合がある。また、1日に4レース以上行う場合についても、コースの長さを変更しない場合がある。

9 クラス旗

Techno293エキスパートクラス（G旗）

Techno293ビギナークラス（F旗）とする。

10 スタート

- 10.1 レースは、規則26に基づきスタートする。
予告信号掲揚（5分前） <クラス旗>掲揚 音響信号1声
準備信号掲揚（4分前） <I旗>または<黒色旗>掲揚 音響信号1声
準備信号降下（1分前） <I旗>または<黒色旗>降下 長音1声
予告信号降下（スタート） <クラス旗>降下 長音信号1声
- 10.2 スタートラインは、スターボードサイドの端となる本部船のJUBF旗と、ポートサイドの端となるアウターマークの間とする。
- 10.3 予告信号降下4分後、スタートラインをクローズする。スタートしていない艇はDNSとして記録される。
- 10.4 スタート本部船風上側の帆走の禁止
全てのスタートに於いて準備信号が発せられた後はスタート本部船と第1マークを結ぶ線をコースエリアの外側からコースエリアサイドに横切ってはならない。この規定に違反した艇は、そのレースに於いて失格とする。

11 リコール

リコールは規則29に従って信号が発せられる。

12 スタートのペナルティー

12.1 規則30.1 I旗規則を全てのレースの最初のスタートから適用する。

12.2 規則30.3 黒色旗規則が適用されたレースに於いて、同規則に違反した艇のセールナンバーはゼネラルリコールとなった場合、本部船に次の新たな予告信号までの間掲示される。各選手はこれを確認する義務があるものとし、これに違反してレースに参加した選手は、DNE の扱いとなる。

13 フィニッシュ

13.1 フィニッシングラインは、本部艇のJUBF旗と、フィニッシュマークとの間とする。

13.2 コース短縮の場合のフィニッシングラインは、運営船のS旗と、先頭艇が回航せんとするマークの間とする。

13.3 フィニッシュラインでの二度切りを行った選手にはペナルティーとしてそのレースのポイントに10ポイント加算される。

14 タイムリミット

14.1 タイムリミットは、各レースの先頭艇フィニッシュ後20分とする。

14.2 スタート後、先頭艇が15分以内に最初のマークに到達できない場合、そのレースは中止される。

15 抗議

15.1 レースエリアで起こったケースについて抗議しようとする艇はレースコミッティーにその旨を伝えなければならない。

15.2 抗議は、陸上本部に用意された所定の用紙に記入の上、当日、最終レース終了後60分以内に陸上本部に提出しなければならない。抗議締切時刻は、公式掲示板に掲示される。抗議料はない。

15.3 審問の順番及び審問の時間は抗議書が提出された後できる限り速やかに掲示される。

15.4 抗議に対する判決は、この大会のプロテスト委員会の判決をもって最終とする。

16 得点方式

16.1 得点方式はRRS付則A4における低得点方式を適用する。

16.2 最大7レースを予定する。本大会が成立するには1レースを完了しなければならない。

16.3 4レース以上レースが成立した場合、その艇の最も悪い得点を除外する。そうでない場合は、その得点を除外しない。これはRRS付則A2を変更している。

17 レディースクラス

レディースクラスの選手は、セールの第三パネルに赤の菱形マークをつけること。